

●○地域連携室日記○●

7月に入り、そろそろ梅雨が明ける頃でしょうか。梅雨が明けるとついに暑い夏がやって参ります。



よしず

みなさんは、夏の暑さをどのように乗り切っていますか。私は、2年前の夏から「よしず」を使って暑さ対策を行っており、とても重宝しています。よしずは立て掛けるだけで室内に涼しい風が入って暑さ対策に効果的ではありますが、窓から10～15センチほど離して、水をかけて使用すると風通しが良くなり、さらに効果が上がるそうです。

クーラーを使うのも良いですが、たまには窓を開け、よしずで涼しい空気を入れてみるのはいかがでしょうか。夏場は冷たいものを食べ過ぎてお腹を壊したり、クーラーのかけすぎで、なんとなくだるかったり、体が本調子ではないことが多い気がします。夏をうまく乗り切り、患者様の相談には爽やかに！他関係機関の連携にはハキハキと！対応していきたいと思ひます。

地域連携室 脇田 拓郎

腎愛会めぐり 17 新入職者研修

腎愛会では、前年度中に入職した職員と、新年度4月1日に入職した職員を対象に、研修施設「霧島山荘」にて新入職者研修を実施しております。

今年度は4月18日～19日の日程で実施し、入職者のあった部署の管理職者らとの懇親会や、当会顧問税理士の池田先生や理事長による講話がありました。

池田先生からは「仕事の報酬とは」何であるかのご教示をいただき、理事長の講話では、当院の透析医療が、患者自身にいかに関与を起ささないかを考えて取り組まれてきたことなどをお教えいただきました。

プロとしての心構えや、当会の今までの取り組みが新入職者に伝わったことと思ひます。



今回の研修参加者



霧島山荘

イベント情報！

●上山病院では、7月28日（火）、9月30日（水）の11：00より「腎臓いきいき教室」を開催致します。参加ご希望の方は受付にて、またはお電話でお申込みください。

☆ 腎愛会 INFORMATION ☆

上山病院

〒890-0073 鹿児島市宇宿3丁目17-6

TEL.099-257-2277 FAX.099-252-0722

診療科目 内科・腎臓内科・

人工透析内科・循環器内科

病床数 40床（医療療養病床）

診療時間 9:00～13:00 14:00～18:00

（午前受付12:30まで、午後受付17:30まで）

※予約診療も受け付けています。

夜間透析 17:00～23:00（月・水・金）

休診 日曜日・祝祭日・木曜日午後

※ただし、急患はこの限りではありません。

- 診療内容
- ・一般保険診療
 - ・禁煙外来（保険での禁煙治療）
 - ・鹿児島市いきいき受診券での特定・長寿・一般健診
 - ・学校腎臓・糖尿検診実施医療機関
 - ・個人健康診断
 - ・企業集団健康診断（自費）

うえやま腎クリニック

〒890-0073 鹿児島市宇宿4丁目39-20

TEL.099-275-3211 FAX.099-275-3212

診療科目 内科・腎臓内科・人工透析内科

診療時間 9:00～13:00 14:00～17:00

（受付は16:00まで）※完全予約制

休診 日曜日・祝祭日・水曜日午後

- 診療内容
- ・一般保険診療
 - ・鹿児島市いきいき受診券での特定・長寿・一般健診
 - ・学校腎臓・糖尿検診実施医療機関
 - ・個人健康診断
 - ・企業集団健康診断（自費）

法人本部

〒890-0073 鹿児島市宇宿3丁目21-5

TEL.099-259-8811 FAX.099-259-8469

腎愛会ニュース

第17号

<企画・発行>

医療法人 腎愛会

鹿児島市宇宿3丁目17-6

平成27年7月1日発行

（年4回発行）

<http://www.jin-ai-kai.or.jp>



上山病院 内科 腎臓内科 人工透析内科 循環器内科
うえやま腎クリニック 内科 腎臓内科 人工透析内科

腎愛会理念

私たちは、豊かな人間愛をもって常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

基本方針

- 1) 質の高い医療を追求するために、たゆみなく研鑽します。
- 2) 医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
- 3) 温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

腎愛会ニュース 第17号 に寄せて



西 裕美

この度、平成27年5月1日付けで事務長職を拝命いたしました、西 裕美（にしひろみ）でございます。初代の平川典子事務長（現腎愛会理事）より数えまして四代目となります。諸先輩方が築き上げてこられた当法人が、今後更に地域の皆様に信頼される医療機関として発展できるよう、誠心誠意努力してまいる所存です。

入職しまして様々な事柄に携わる中で痛感しますのは、医療機関における事務職の役割の重要性です。単に収支を把握するだけではなく、患者サービスや法人内の業務改善、持てる資源（人材・資金・設備・方針）を活かすための情報収集およびその伝達と共有など、多岐に渡る事柄の中核に在ることを事務職員自身が強く自覚する必要があると考えております。医療機関は専門職を始めとした多職種から成り立っ

ており、職種間の協力体制は不可欠です。職種間の協働が円滑に進むような調整力、速やかな問題解決能力を兼ね備えた事務部門を構築すべく努めてまいります。

この宇宿の地に前身の「上山内科クリニック」が開設されてから、今年で35年目を迎えました。腎愛会は、今後も地域の皆様の頼れるかかりつけ医であり続けるために、以下の3つの実現を目指して努力してまいります。

- ①働いている職員から「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院
 - ②患者様とご家族が「素晴らしい治療を受けることができ、本当によかった」と言ってもらえる病院
 - ③他の病院や医師より「あの病院は最高の医療を提供している」と認めていただける病院
- 今後とも、皆様のご支援ならびにご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

上山病院 事務長 西 裕美

この「透析AtoZ」は、腎愛会における腎臓医療や人工透析に関する取り組みをご紹介します。

■腹膜透析②

腹膜透析は、患者様自身の身体の腹膜を使用する透析療法です。腹腔へ透析液を出し入れするため、最初にカテーテルというチューブ（直径約5ミリ）をおなかの中に埋め込む手術をします。感染を予防するため、日々カテーテルのケアを行い、出口の部分とカテーテルを常に清潔に保つ必要があります。

透析の装置として、患者様の身体の腹膜を使用します。腹膜は胃や腸などの臓器を覆っている薄い膜です。表面積は1人の人の体表面積ほどあり、毛細血管が表面に網の目のように発達しています。

・拡散の原理

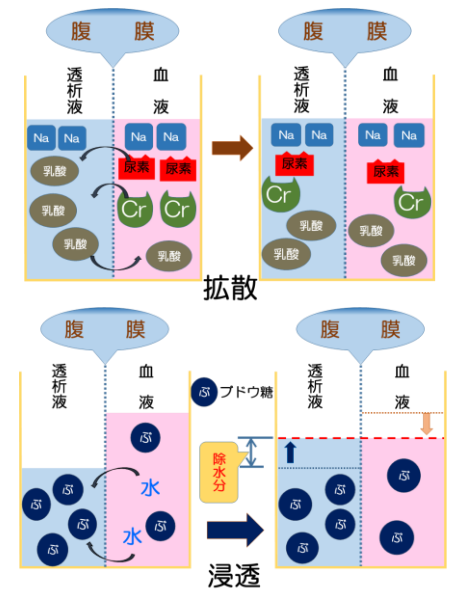
例えばコップの水に食塩を入れ、塩分の濃度がコップの部分によって違うとき、マドラーなどで混ぜなくとも時間が経つにつれコップの中の水の塩分濃度がどの部分でも同じになる現象を、拡散と言います。腹膜透析もこれと同様で、透析液を腹腔に入れておくと、体内の老廃物が腹膜を介して透析液側に滲出します。同時に体内に不足している物質は、透析液側から体内に滲入します。

・浸透圧の原理

透析液には浸透圧を高めるためにブドウ糖が添加してあります。これにより透析液と血液の浸透圧の差（透析液は糖などの浸透圧物質のため、浸透圧が血液より高くなります）で体の余分な水分を除去します。

現在主に行われているのは、持続的携帯式腹膜透析（Continuous Ambulatory Peritoneal Dialysis : CAPD）です。

今回はこの CAPD につきましてご紹介致します。



○●腎愛会 第9回「健康まつり」を開催致しました ●○

5月24日（日）、上山病院において第9回「健康まつり」を開催しました。今年の来場者は約60名で、多くの方にご来場いただきました。

健康チェックや頸部エコー、血管年齢検査、医師相談、介護相談、栄養相談、薬剤相談や手洗い体験、アロマハンドマッサージなど、地域のみなさんの健康を促進する催しのほか、ノンオイルドレッシングや減塩調味料などの、健康維持に適した食品の紹介をしました。

さらにヤクルトさんに新商品紹介のブースを設けていただいたり、スポーツインストラクターの吉留早木子氏による楽しいエクササイズの地域公開講座も行われたりするなど、盛り上がりしました。

ご来場者の方々の感想で“職員のみなさんととても優しく親切で、気持ち良く健康診断を受ける事が出来ました。エクササイズも楽しかったです”“医療機関の中に入ることはあまりないし、機会も少ないので、とても興味深いです”との声が聞かれました。

来年も皆様のご来場を心よりお待ちしております。



今年の健康まつりも盛況でした

腎愛会ニュースプロジェクトチーム

たつる会長の何でも相談室!

今回のテーマは「転倒と杖」です

■転倒と杖

「長寿社会」と一口に言っても、手放しで喜んではられません。

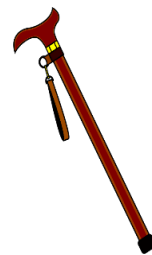
人間は一般に加齢と共に心身の機能は低下してきます。しかもこれは程度の差こそあれ、万人必須です。また物忘れをしたり、足腰の痛みがあったり、血圧が高かったりして病院のお世話になることが多くなるものです。

これまでも、メタボ健診や高齢者と薬、「ロコモ」とは何か？などについてお話ししてきましたが如何だったでしょうか。お役に立ったでしょうか。

ねんりん・シルバー110番の「転ばぬ先の杖」のところで高齢者の特徴として「運動器不安定症」のことを述べましたが、思い当たることはありませんでしたか。

私は大失敗をしてしまいました。数ヶ月前のことです。朝の散歩をしていましたが、ごく普通の歩道の何の変化も無いところで、突然前のめりになり転んでしまいました。激しく手を打ち、膝をすりむいてしまいました。膝はたいしたことは無かったのですが、左手は手のひらを激しくコンクリートにぶちつけてしまい、現在でも親指の付け根のところが痛い。骨に異常が起きたのかも知れません。医者のかせにほっといたのかと言われますと、何も言えませんが。

他人様には「運動器不安定症」と言われる状態がありますよと申し上げているのに、そして「転ばぬ先の杖」をお勧めしているのに、その時は杖を使用していませんでした。本当に お恥ずかしい事でございます。それに懲りて、現在は玄関の傘立てに3本準備しております。3本と言うのはその日の気分好きなものと言うことです。また履きものはしっかりと自分の足に合った靴を使用しています。おかげでその後は転倒することなく大地を叩きながら徘徊しています。



たつる
(腎愛会 会長 新村 健)

じんあい 耳より情報!

ジェネリック医薬品（後発医薬品）って聞いたことありますか？

最近、ニュースや新聞で取り上げられる事が多いジェネリック医薬品について今回はスポットを当ててみたいと思います。

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期間が満了後、厚生労働省の承認を得て製造・販売されるお薬のことです。

新薬に比べて開発費が大幅に削減できるため、新薬と同じ有効成分・同等の効き目でありながら、お薬の価格を低く抑えることができます。そのため患者さん個人の医療費負担を軽くするだけでなく、国全体の医療費削減にも大きく貢献することが期待されています。

また、飲み易くするため新薬にはない工夫がされているお薬もあり、患者さんには多くのメリットがあります。

しかしながら日本のジェネリック医薬品のシェアは39.9%（平成23年）であり、欧米と比べるとあまり浸透していないのが現状です。

日本では「知らない」「良く分からない」との声が多いジェネリック医薬品ですが、この機会に興味を持たれた方は薬剤師に相談されてはいかがでしょうか？



【監修 腎愛会 理事長 上山 達典^{さとのり}】

上山病院 薬剤科